

事業報告書

I 事業実績

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

1 農作物共済関係

(1) 引受

年度	共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
		人	a	円	円	円	円
4年	水 稲	13,772	1,382,543	10,292,040,172	8,664,441		
	陸 稲						
3年	麦(4年産)	278	294,606	879,121,526	14,460,937		
	合 計	延 実 14,050 13,854	1,677,149	11,171,161,698	23,125,378	△ 1,795,613	21,329,765
4年	麦(5年産)	259	286,694	875,883,945	14,152,756		

(引受概要)

水稻の引受面積は、全相殺方式77ha、半相殺方式3,674ha、地域インデックス方式10,066ha、品質方式8ha、合計13,825ha(前年対比87.0%)、共済金額10,292,040千余円(前年対比88.4%)となった。

10a当たりの共済金額は74,443円、同農家負担共済掛金63円となった。

また、収入保険加入者は901戸、6,979haであった。

陸稲は引受がなかった。

麦の引受面積(令和5年産)は、全相殺方式47ha、半相殺方式499ha、地域インデックス方式1,482ha、災害収入共済方式839ha、合計2,867ha(前年対比97.3%)共済金額875,883千余円(前年対比99.6%)となった。

10a当たりの共済金額は30,551円、同農家負担共済掛金494円となった。

また、収入保険加入者は262戸、2,843haであった。

(2) 被害

共済目的	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
	人	円	%
水 稲	111	5,836,947	0.06
陸 稲			
麦	113	93,185,939	10.6
合 計	224	99,022,886	0.9

(被害概要)

水稻は、7月中旬の豪雨の影響で、山間部の一部耕地で土砂が流入し、収穫不能となる圃場が発生した。また、9月18日の台風14号の風雨により登熟期の水稻が倒伏した。その後登熟不良や穂発芽を招き、減収となる耕地が発生した。病害においては7月上旬から8月上旬にかけて気温の上昇と断続的な降雨があり、出穂後に高温多湿が続いたことで内穎褐変病、紋枯病が発生し減収となった。

また、8月下旬以降山間部では日照不足によりいもち病が発生し、その他スクミリンゴガイによる食害や山間部に於いて鳥獣害により被害を受けた。

麦は、播種後水はけの悪い圃場では、12月上旬の降雨による土壌湿潤の影響で出芽障害となり株数が減少、また初期生育不良となり穂数が少なくなる圃場もあった。4月下旬及び5月中旬には断続的な風雨により登熟前に倒伏し、日照不足、多湿状態を招き登熟不良となったことで減収となった。また、6月2日、3日の降雪により収穫直前の麦類を直撃したことで脱粒、折稈、倒伏する被害を受け減収となった。その他、赤かび病等による病害や鳥獣害により被害を受けた。

(3) 支 払

共済目的	支払月日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源				実支払共済金 共 済 金 %
			保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金充当額 円	特別積立金充当額 円	
水 稲	R4. 12. 22~ R5. 2. 27	5,836,947		5,571,967			100.0
陸 稲							
麦	R4. 9. 20~ R5. 2. 27	93,185,939		13,343,525			100.0
合 計		99,022,886	9,551,751	18,915,492	70,555,643		100.0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、水稻種もみの温湯消毒の実施、病虫害等防除薬剤費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

2 家畜共済関係

(1) 引 受

区分	項目	組合員数	有資格頭数	事業計画 頭数①	引受頭数②	②	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
						①				
		人	頭	頭	頭	%	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	117	6,260	5,180	5,180	100.0	830,130,075	38,620,171	/	/
	育成乳牛	103	1,940	2,950	3,080	104.4	415,317,150	3,111,223		
	繁殖用雌牛	50	2,100	860	911	105.9	276,386,450	2,633,964		
	育成・肥育牛	114	17,280	8,080	13,336	165.0	7,523,343,240	8,375,878		
	繁殖用雌馬		5							
	育成・肥育馬		3							
	種豚	4	6,870	220	681	309.5	37,853,850	662,567		
	肉豚	3	67,500	1,410	3,903	276.8	37,320,000	1,165,244		
	種雄牛									
	種雄馬									
	計	391	101,958	18,700	27,091	144.9	9,120,350,765	54,569,047	51,253,543	105,822,590
疾病 傷害 共済	乳用牛	132	8,000	6,240	6,156	98.7	114,855,657	37,267,239	/	/
	肉用牛	114	19,380	1,790	2,482	138.7	19,259,235	4,482,317		
	一般馬		8							
	種豚	3	6,870	210	220	104.8	250,000	8,414		
	種雄牛									
	計	249	34,258	8,240	8,858	107.5	134,364,892	41,757,970	42,304,140	84,062,110
	合計	640	136,216	26,940	35,949	133.4	9,254,715,657	96,327,017	93,557,683	189,884,700

(引受概要)

制度の説明をし、農家のニーズに合った引受方式を提案した。酪農家には胎児・子牛の品種が対象となる死廃共済と過去の治療費に見合った病傷共済加入を推進した。

また、特定事故が対象となる事故除外方式の賦課金率を新設し、加入推進に努めた。

(2) 事 故

区分	項目	死亡廃用共済			支払共済金
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	
		頭	頭	頭	円
搾乳牛		182	393	575	70,048,242
育成乳牛		103	8	111	5,431,891
繁殖用雌牛		9	12	21	4,913,986
育成・肥育牛		212	3	215	14,073,184
繁殖用雌馬					
育成・肥育馬					
種豚		5	14	19	668,957
肉豚		267		267	1,831,112
種雄牛					
種雄馬					
	計	778	430	1,208	96,967,372

区分	項目	疾病傷害共済	
		件数	支払共済金
		件	円
乳用牛		6,138	81,469,148
肉用牛		1,146	11,966,204
一般馬			
種豚		11	37,575
種雄牛			
種雄馬			
	計	7,295	93,472,927

(被害概況)

死亡廃用事故、疾病傷害共済事故ともに昨年度より減少した。
死廃共済金は前年比88.0%、病傷共済金は前年比88.5%であった。

(3) 損害防止

区分	実施種目	対象頭数	経費概算	摘要
特定損害防止		頭	円	
一般損害防止	予防衛生措置	13,571	959,600	殺虫剤、消炎剤、搾乳手袋 539,550 円 生菌製剤 392,990 円 除菌剤 27,060 円

(4) 診療所

診療所名	職員数	管内 (肉豚を除く)		診療件数			損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	診療外	一般	特損	経費概算	
家畜診療所	7人	34,258頭	8,858頭	1,902頭	122頭	2,436頭	13,571頭		959,600円	

3 果樹共済関係

(1) 引 受

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料(△)	手持共済掛金
		人	a	円	円	円	円
3年	なし(4年産)	192	4,784	267,708,000	3,137,560	△ 199,693	2,937,867
4年	ぶ ど う	42	861	68,236,000	555,704	167,452	723,156
	合 計	234	5,645	335,944,000	3,693,264	△ 32,241	3,661,023
4年	なし(5年産)	181	4,559	263,026,000	3,096,392	△ 197,709	2,898,683

(引受概要)

なし：令和5年産の引受面積は半相殺減収総合方式46ha（前年対比95.3%）
共済金額263,026千円（前年対比98.3%）となり、10a当たりの共済金額は576,938円
同農家負担共済掛金は6,792円となった。また、収入保険加入者は59戸36haであった。

ぶどう：令和4年産の引受面積は、半相殺減収総合方式8.6ha（前年対比99.3%）
共済金額68,236千円（前年対比104.8%）となった。10a当たりの共済金額は792,889円
同農家負担共済掛金は6,457円となった。また、収入保険加入者は38戸17.9haであった。

(2) 被 害

果樹区分	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
	人	円	%
な し	65	61,103,190	22.8
ぶ ど う	17	21,000,010	30.8
合 計	82	82,103,200	24.4

(被害概要)

なし：6月2日、3日の降ひょうによる被害の他、6月下旬～7月上旬には高温及び強い
日射により日焼け果が発生し減収となった。また、シンクイムシやカメムシによる虫害
及びカラスによる鳥害が発生し減収となった。

ぶどう：6月2日、3日の降ひょうによる被害の他、6月下旬～7月下旬及び8月下旬に
ハクビシンによる食害が発生し減収となった。その他6月中旬～8月中旬に晩腐病が
発生し減収となった。

(3) 支払

果樹区分	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
なし	R4. 12. 13	円 61, 103, 190	円	円 2, 937, 867	円	円	円	% 100. 0
ぶどう	R4. 12. 13	21, 000, 010		723, 156				100. 0
合計		82, 103, 200	70, 856, 452	3, 661, 023	7, 585, 725			100. 0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病虫害防除等に使用した薬剤購入経費、鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

4 畑作物共済関係

(1) 引 受

年度	畑作区分	項目	組合員数	引受面積		共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金
				(共済箱数)	a (箱)				
3年	茶 (4年産)		人			円	円	円	円
			15	840	5,519,820	126,105	9,277	135,382	
4年	大豆		70	19,222	25,371,454	967,853			
		茶 (5年産)	14	843	6,041,570	68,434			
		スイートコーン	6	399	6,746,619	50,736			
		蚕 繭	6	40.55	2,582,130	14,343			
		合 計	延 実	96 96	20,464 (40.55)	40,741,773	1,101,366	670,747	1,772,113

(引受概要)

大豆：引受戸数70戸、引受面積、全相殺方式192ha（前年対比100.9%）
10a当たりの共済金額は13,199円、同農家負担共済掛金は504円となった。
また、収入保険加入者は42戸、228haであった。

スイートコーン：引受戸数6戸、引受面積、全相殺方式4ha（前年対比66.0%）
10a当たりの共済金額は169,088円、同農家負担共済掛金は1,272円となった。
また、収入保険加入者は65戸、131haであった。

茶：令和5年産は、引受戸数14戸、引受面積、半相殺方式8ha（前年対比100.4%）
10a当たりの共済金額は71,667円、同農家負担共済掛金は812円となった。
また、収入保険加入者は36戸、97haであった。

蚕繭：引受戸数6戸、引受箱数、全相殺方式40.55箱（前年対比96.3%）
春蚕繭1箱当たりの共済金額は69,248円、同農家負担共済掛金160円、
初秋蚕繭1箱当たりの共済金額は62,178円、同農家負担共済掛金571円、
晩秋蚕繭1箱当たりの共済金額は59,279円、同農家負担共済掛金420円となった。
また、収入保険加入者は1戸、7.5箱であった。

(2) 被 害

畑作区分	項目	被害組合員数	共済金		畑作区分	項目	被害組合員数	共済金	
			円	%				円	%
大豆		人	円	%	蚕 繭		人	円	%
		49	5,101,996	20.1			2	104,580	4.1
茶					合 計		55	10,323,465	25.7
スイートコーン		4	5,116,889	75.8					

(被害概要)

大豆：7月中旬から下旬にかけての降雨に伴う土壌の湿潤による発芽不良及び生育不良により減収となった。

茶：被害なし。

スイートコーン：6月2日の降ひょうによる被害により減収となった。

蚕繭：晩秋蚕で病害（膿病）により減収となった。

(3) 支 払

畑作区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
			円	円	円	円	円	円	%
大豆		R5. 3. 30	5, 101, 996		1, 594, 312				100. 0
茶									
スイートコーン		R4. 10. 19	5, 116, 889		82, 852				100. 0
蚕 繭		R4. 12. 23	104, 580		21, 482				100. 0
合 計			10, 323, 465	6, 588, 258	1, 698, 646	2, 036, 561			100. 0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した他、病虫害防除等に使用した薬剤購入経費または鳥獣害対策資材購入経費の一部を助成した。

5 園芸施設共済関係

(1) 引受

施設区分		項目	組員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額					合計	
						特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物		撤去費用
			人	棟	m ²	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
ガラス	I 類											
	II 類		119	204	140,694	1,554,531	313,578	69,683	21,848	43,390	73,830	2,076,860
プラスチック	I 類											
	II 類		2,372	6,931	1,257,017	3,856,665	374,373	224,408	67,246	143,683	110,815	4,777,190
	III 類		114	132	110,146	456,884	53,212	64,654	20,061	30,415	34,829	660,055
	IV 類 (甲)		548	759	702,638	6,616,375	858,892	816,357	211,549	166,620	316,175	8,985,968
	IV 類 (乙)		278	373	367,136	3,586,900	344,492	361,766	77,152	98,755	147,929	4,616,994
	V 類		87	127	74,836	693,804	190,136	86,783	35,692	12,622	35,616	1,054,653
	VI 類		26	188	31,761	91,560	2,479				705	94,744
合計	合計		3,763	9,158	3,528,101	17,220,366	2,153,164	1,623,651	433,548	495,485	736,904	22,663,118

施設区分		項目	共 済 金 額					合計	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料 (△)	手持共済掛金	
			特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物					撤去費用
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円	
ガラ	I 類											
	II 類		1,302,284	270,606	56,530	18,400	34,055	61,426	1,743,301	2,595,154	159,627	2,754,781
プラスチック	I 類											
	II 類		3,102,165	305,226	180,770	52,112	108,468	88,234	3,836,975	46,745,487	△6,214,010	40,531,477
	III 類		353,462	43,541	48,298	15,184	24,333	26,571	511,389	6,280,971	△1,952,069	4,328,902
	IV 類 (甲)		5,017,495	660,781	632,830	169,938	122,980	244,543	6,848,567	28,582,166	△7,156,900	21,425,266
	IV 類 (乙)		2,713,790	282,674	277,964	56,693	75,515	114,685	3,521,321	17,280,189	△3,205,854	14,074,335
	V 類		535,368	148,093	69,351	28,117	10,097	26,224	817,250	2,541,286	△103,412	2,437,874
	VI 類		68,211	1,886				489	70,586	1,287,062	△464,829	822,233
合計	合計		13,412,159	1,727,693	1,265,743	340,444	375,448	578,083	17,699,570	108,365,756	△18,502,090	89,863,666

(引受概要)

引受戸数は、3,763戸（前年対比113.8%）、引受棟数9,158棟（前年対比107.0%）
 共済金額は176億9,900万余円（前年対比101.9%）前年度との比較では戸数、棟数、
 共済金額ともに増加となった。

(2) 被害

施設区分	項目	被害			損害の額 円	共 済 金				共済金 共済金額 %	
		組合員数 人	棟 数 棟	附帯施設数 基		特定園芸施設 円	附帯施設 円	施設内農作物 円	撤去復旧費用 円		合 計 円
ガラス	I 類										
	II 類	10	19	1	10,629,868	7,820,746	48,306		388,056	8,257,108	0.47
プラスチック	I 類										
	II 類	267	573	1	34,620,039	27,977,436	24,684	163,712		28,165,832	0.73
	III 類	16	16		8,606,585	6,111,596		519,210		6,630,806	1.30
	IV類(甲)	89	110	16	41,462,430	29,007,774	1,902,157	1,782,403	375,123	33,067,457	0.48
	IV類(乙)	42	59	9	59,680,362	40,099,554	1,290,242	564,937	447,720	42,402,453	1.20
	V 類	12	17	1	13,359,464	7,826,907	34,311		34,311	7,895,529	0.97
	VI 類	1	1		21,717	17,373				17,373	0.02
合計	26	34		6,771,410	6,007,130				6,007,130	1.72	
合計	463	829	28	175,151,875	124,868,516	3,299,700	3,030,262	1,245,210	132,443,688	0.75	

(被害概況)

自然災害等では、ひょう害で580棟、風害、水害で218棟、落雷で7棟、雪害で2棟、
 その他気象上の災害で1棟となった。また、自然災害等以外では施設内農作物の病虫害
 で
 12棟、鳥獣害で4棟、車両の衝突で3棟、火災で1棟、合計で829棟（前年対比514.9%）
 支払共済金は132,443千余円（前年対比786.5%）となった。

(3) 支 払

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金 %
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
円 132,443,688	円 718,448	円 87,836,051	円 43,889,189	円	円	100.0

(4) 損害防止

県が実施している病虫害発生予察情報等を広報紙・ホームページにおいて紹介した。

6 任意共済関係

(1) 建物共済

ア 引受

区分	項目	加入棟数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1 棟 当 り 平 均 共 済 金 額	建 物 保 険 料	保 険 手 数 料 収 入
				純共済掛金	組合事務費			
		棟	円	円	円	円	円	円
火 災 共 済		98,096	1,186,083,470,000	508,608,083	416,011,195	12,091,048	277,223,992	112,274,162
総 合 共 済		10,763	79,398,310,000	139,098,716	91,887,354	7,376,968	101,911,408	32,409,592
合 計		108,859	1,265,481,780,000	647,706,799	507,898,549	11,624,962	379,135,400	144,683,754

(注) 共済掛金総額 1,155,605,348円

保険割合 火災共済及び総合共済（地震以外）30%、総合共済（地震）50%

(引受概要)

建物共済全体の加入棟数は、108,859棟（前年対比96.3%）、共済金額1兆2,654億余円（前年対比96.3%）と前年に比べ減少したが、自然災害を対象とした総合共済の引受拡大に重点を置き推進した結果、総合共済加入棟数10,763棟（前年対比102.9%）、総合共済共済金額793億余円（前年対比109.2%）と増加した。

イ 事 故

事 故 棟 数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)		建 物 保 険 金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		火 災	風 水 害 等			
棟	円	円	円	円	%	
742	8,708,700,000	410,464,408	122,073,881	160,080,906	6.1	

(事故概況)

事故棟数は、落雷が最も多く、次いでひょう害が多かった。事故原因別の支払共済金は、不明・調査中や類焼による支払が多かった。

ウ 原因別事故

事故原因別		事故棟数	加入総共済金額 (イ) 円	支払共済金 (ロ) 円	建物保険金 円	被害率 (ロ) / (イ) %	備考
火災 (拡張担保を含む)	落雷	棟 240	円 3,111,300,000	円 49,016,075	円 14,704,738	% 1.6	
	盗難による汚毀損	60	885,000,000	4,700,239	1,410,057	0.5	
	水道管凍結	25	258,700,000	1,134,944	340,481	0.4	
	給排水設備	23	405,500,000	10,357,576	3,107,267	2.6	
	類焼	18	99,000,000	63,107,181	18,932,149	63.7	
	不明・調査中	17	162,600,000	181,177,028	54,353,103	111.4	
	外部からの落下等	15	240,400,000	761,530	228,455	0.3	
	車両の飛び込み	12	170,500,000	2,245,669	673,697	1.3	
	その他	25	329,600,000	97,964,166	29,389,246	29.7	
自然災害	ひょう害	239	2,367,300,000	96,479,466	28,943,749	4.1	
	強風	48	459,200,000	15,274,172	4,582,235	3.3	
	その他	20	219,600,000	10,320,243	3,415,729	4.7	
合計		742	8,708,700,000	532,538,289	160,080,906	6.1	

(2) 農機具損害共済

ア 引受

加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当り平均 共済金額
		純共済掛金	組合事務費	
台 12,325	円 25,674,030,000	円 111,169,232	円 42,423,978	円 2,083,086

(引受概要)

未加入農機具の加入推進、新調達価額に見合った共済金額の増額提案、盗難被害に備えた加入推進に努めた。加入台数は、12,325台（前年対比101.8%）共済金額25億7,403万円（前年対比103.4%）と増加した。

イ 事故

事故台数	加入総共済金額 (イ) 円	支払共済金 (ロ) 円	被害率 (ロ) / (イ) %	備考
台 283	円 1,029,250,000	円 84,100,201	% 8.2	

(事故概況)

事故原因別では、稼働中の接触が最も多く、次いで異物の巻き込みが多かった。

ウ 原因別事故

事故原因別		事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備考
		台	円	円	%	
格納中	降ひょう害	13	31,350,000	6,214,171	19.8	
	鳥獣害	5	36,500,000	1,350,670	3.7	
	その他	7	19,450,000	988,379	5.1	
稼働中	接触	136	509,850,000	37,490,848	7.4	
	異物の巻き込み	79	304,050,000	25,966,936	8.5	
	衝突	13	33,800,000	3,597,445	10.6	
	墜落	9	20,100,000	2,681,979	13.3	
	その他	21	74,150,000	5,809,773	7.8	
合 計		283	1,029,250,000	84,100,201	8.2	

(3) 保管中農産物補償共済

ア 引受

加入口数	共済金額	共 済 掛 金			1口当り平均 共済金額	保管中農産物保険料
		純共済掛金	組 合 事 務 費	全 国 連		
口	円	円	円	円	円	
3	3,000,000	8,050	2,934	516	1,000,000	8,566

(引受概要)

洪水や浸水が想定される地域の加入推進を行なった。

イ 事故

事故なし

7 農機具更新共済関係

(1) 引受

加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金	
			純共済掛金	組 合 事 務 費
台	円	円	円	円
21	47,350,000	39,950,000	5,815,788	188,957

(引受概要)

共済責任期間満了となった農機具については、損害共済への加入推進を行なった。

(2) 事故

事故台数	期間満了等台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金		被害率 (ロ)/(イ)
			火災・風水害等(ロ)	期間満了によるもの 金 計	
台	台	円	円	円	%
2	13	4,250,000	503,438	28,000,000	11.8

(事故概況)

事故は、2台の接触等事故が発生した。
共済責任期間満了による減価共済金として28,000千円の支払を行なった。

8 農業経営収入保険関係

(1) 引受関係

経営形態	経営体数	基準収入	補償額	納入保険料等			合計
				保険料	積立金	付加保険料	
	経営体	円	円	円	円	円	円
個人経営体	1,682	20,305,815,254	16,169,041,950	152,040,505	441,208,665	38,668,054	631,917,224
法人経営体	169	6,493,292,634	5,219,758,953	51,988,086	143,529,367	11,300,753	206,818,206
計	1,851	26,799,107,888	21,388,800,903	204,028,591	584,738,032	49,968,807	838,735,430

(引受概要)

埼玉県収入保険推進協議会との一体的な加入促進の取組みにより、関係機関及び関係団体と連携を図り、多様な農業者へ広く制度の普及や周知に努め、1,851経営体（前年対比118.5%）、補償額は21,388,800千余円（前年対比105.8%）と加入増加に結び付けた。

(2) 支払関係

経営形態	補てん金			合計	つなぎ資金	
	経営体数	保険金	特約補てん金		経営体数	借入申請金額
	経営体	円	円	円	経営体	円
個人経営体	438	354,024,935	363,454,360	717,479,295	30	115,010,000
法人経営体	84	398,765,276	337,405,667	736,170,943	11	52,370,000
計	522	752,790,211	700,860,027	1,453,650,238	41	167,380,000

(支払状況)

支払補てん金は522経営体で1,453,650千余円となり、つなぎ資金(無利子)の貸付けについては、41経営体で167,380千円の利用があった。収入減少要因については、市場価格の下落によるもの68%、自然災害や病虫害・鳥獣害などで収量減少によるもの29.6%、けがや病気で収穫不能によるもの2.3%、取引先の倒産によるもの0.1%であった。

9 業務関係

(1) 重要な処理事項

年月日	処理事項	年月日	処理事項
令和4年		10月6日	損害評価会畑作物共済第一部会、全国参事会議
4月1日	辞令交付	10月13日	収入保険セールストーク研修
4月4日	県主催農業災害担当者会議	10月20日	常例検査 (25日、27日、11/2、11/8、11/14、11/17~11/18)
4月19日	茶巡回調査	10月21日	大豆巡回調査
4月22日	会計実地検査	10月27日	家畜診療等技術関東地区発表会及び研修会
4月25日	内部監査 (~5/6)	11月1日	余裕金運用管理委員会
5月13日	余裕金運用管理委員会	11月9日	監事会、中間監査 (~16日)
5月25日	関東地区組合長会議	11月17日	関東地区建物共済損害評価講習会
5月16日	監事会 (20日)、決算監査 (~20日)、麦巡回調査 (25日、27日)	11月24日	全国NOSAI全国大会
5月26日	理事会、研修基金運用管理委員会	11月30日	理事会
6月8日	第6回通常総代会	12月15日	蚕繭損害評価会
7月1日	情報化推進会議	令和5年	
7月7日	農水省主催果樹共済研修会	1月19日	関東地区総務・経理担当者会議
7月12日	農水省主催園芸施設共済研修会	1月27日	総務・指導担当者合同会議
7月13日	全国参事会議	1月31日	損害評価会家畜共済部会、診療所運営委員会
7月6日	コンプライアンス改善委員会	2月1日	余裕金運用管理委員会
7月20日	果樹巡回調査	2月2日	関東地区参事会議
7月21日	物品購入等選定委員会	2月3日	関東地区農作共済担当者会議
8月1日	余裕金運用管理委員会	2月10日	内部監査 (~3/10)、関東地区果樹共済担当者会議
8月3日	監事会	2月22日	理事会、監事会、農水省主催農作物・畑作物共済研修会
8月10日	理事会、理事監事研修会	2月16日	物品選定委員会、全国参事会議、損害評価会農作物部会
8月23日	税務研修会 (29日)、果樹共済損害評価 (9/5)	2月16日	関東地区園芸施設共済担当者会議
8月24日	水稲共済損害評価 (~10/4)	2月24日	関東地区畑作物共済担当者会議
8月25日	物品購入等選定委員会、関東地区家畜共済担当者会議、県随意検査 (~31日)	3月6日	臨時総代会
9月2日	損害評価会農作物部会、階層別研修会 (9/30)	3月10日	関東地区任意共済担当者会議
9月15日	水稲作柄巡回調査	3月16日	物品購入等選定委員会
9月16日	内部監査 (~10/19)	3月17日	理事会、コンプライアンス改善委員会
9月27日	退職給与金施設運用委員会 (12/19、2/17)	3月31日	退職辞令交付

(2) 総 代 会

ア 通常総代会

と き 令和4年6月8日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	188 人	出席率
本人出席 (B)	21 人	(B) / (A) 11.2 %
代理出席	人	
書面出席	167 人	
出席者計 (C)	188 人	(C) / (A) 100.0%

重要な議事及び議決事項

- | | |
|--|-----|
| (1) 令和3年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び不足金処理案について | 可 決 |
| (2) 令和4年度事業計画設定並びに事務費賦課額及び徴収方法について | 可 決 |
| (3) 役員報酬について | 可 決 |
| (4) 損害評価会委員、共済支部長及び顧問報酬について | 可 決 |
| (5) 余裕金預入先金融機関について | 可 決 |
| (6) 借入金最高限度額について | 可 決 |
| (7) 未収掛金等債権の損金処理について | 可 決 |
| (8) 事業規程の一部改正について | 可 決 |
| (9) 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員選任について | 可 決 |
| (10) 事業実施体制改善計画について | 可 決 |

イ 臨時総代会

と き 令和5年3月6日

ところ 埼玉県農業共済会館

総代会日現在総代数 (A)	187 人	出席率
本人出席 (B)	9 人	(B) / (A) 4.8 %
代理出席	人	
書面出席	178 人	
出席者計 (C)	187 人	(C) / (A) 100.0 %

重要な議事及び議決事項

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 事業規程の一部改正について | 可 決 |
| (2) 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について | 可 決 |
| (3) 防災事業収支明細の一部改正について | 可 決 |

(3) 組合員の増減 (人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 (△)	摘 要
71,138	65,747	△5,391	

(4) 役職員その他

ア 役員 (人)

役員数	理 事			監 事	合 計
	常勤	非常勤 21	計 21	3	24

イ 職員 (人)

職員数		職 員 (嘱託職員含む)	臨時・派遣	合 計
	男	128	6	134
	女	33	13	46
	合 計	161	19	180

外出向 1名

(ア) 本所職員数 (嘱託職員含む) (人)

	参 事	監 査 室	総務部		事業第一部			事業第二部			合 計		
			部 長	総 務 課	企 画 情 報 課	部 長	收 入 保 険 課	収 穫 共 済 課	部 長	次 長		資 産 共 済 課	家 畜 診 療 所
男	1	1 (1)	1	3	3	1	4	4	1	1	6	5 (1)	31
女				4	1		1				2	1	9
計	1	1 (1)	1	7	4	1	5	4	1	1	8	6 (1)	40

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(イ) 中部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	中部統括支所						東松山支所	上尾支所	合計
	統括支所長	次長	総務課	収入保険課	収穫共済課	資産共済課			
男	1	1	(1)	4	4	8	8	7	33
女			2	2	1	1	2	2	10
計	1	1	2 (1)	6	5	9	10	9	43

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(ウ) 北部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	北部統括支所						本庄支所	秩父支所	合計
	統括支所長	次長	総務課	収入保険課	収穫共済課	資産共済課			
男	1	1	1 (1)	5	4	7	7	5	31
女			1		2	1	2	1	7
計	1	1	2 (1)	5	6	8	9	6	38

()は兼務 合計欄は兼務を除く

(エ) 東部統括職員数 (嘱託職員含む)

(人)

	東部統括支所						宮代支所	越谷支所	合計
	統括支所長	次長	総務課	収入保険課	収穫共済課	資産共済課			
男	1	1	(1)	5	4	5	12	5	33
女			2		1	1	2	1	7
計	1	1	2 (1)	5	5	6	14	6	40

()は兼務 合計は兼務を除く

(オ) 臨時・派遣職員数

(人)

		本 所	中 部 統 括 支 所	東 松 山 支 所	上 尾 支 所	北 部 統 括 支 所	本 庄 支 所	秩 父 支 所	東 部 統 括 支 所	宮 代 支 所	越 谷 支 所	家 畜 診 療 所	合 計
臨時	男		1			1	1			2		1	6
	女	2	1	1	1	2				1	1	1	10
派遣	男												
	女	1							1		1		3
合計		3	2	1	1	3	1		1	3	2	2	19

イ 総代、共済支部長、損害評価会委員、損害評価員

(人)

総 代	共済支部長	損害評価会委員	損害評価員
1 8 7 (欠員2)	5, 2 5 9	2 4 2	2, 6 4 6